

八戸市こどもモニター制度 手話(しゅわ)に関するアンケート概要

アンケートの実施結果は以下のとおりでした。
こどもモニターのみなさん、ご協力ありがとうございました。

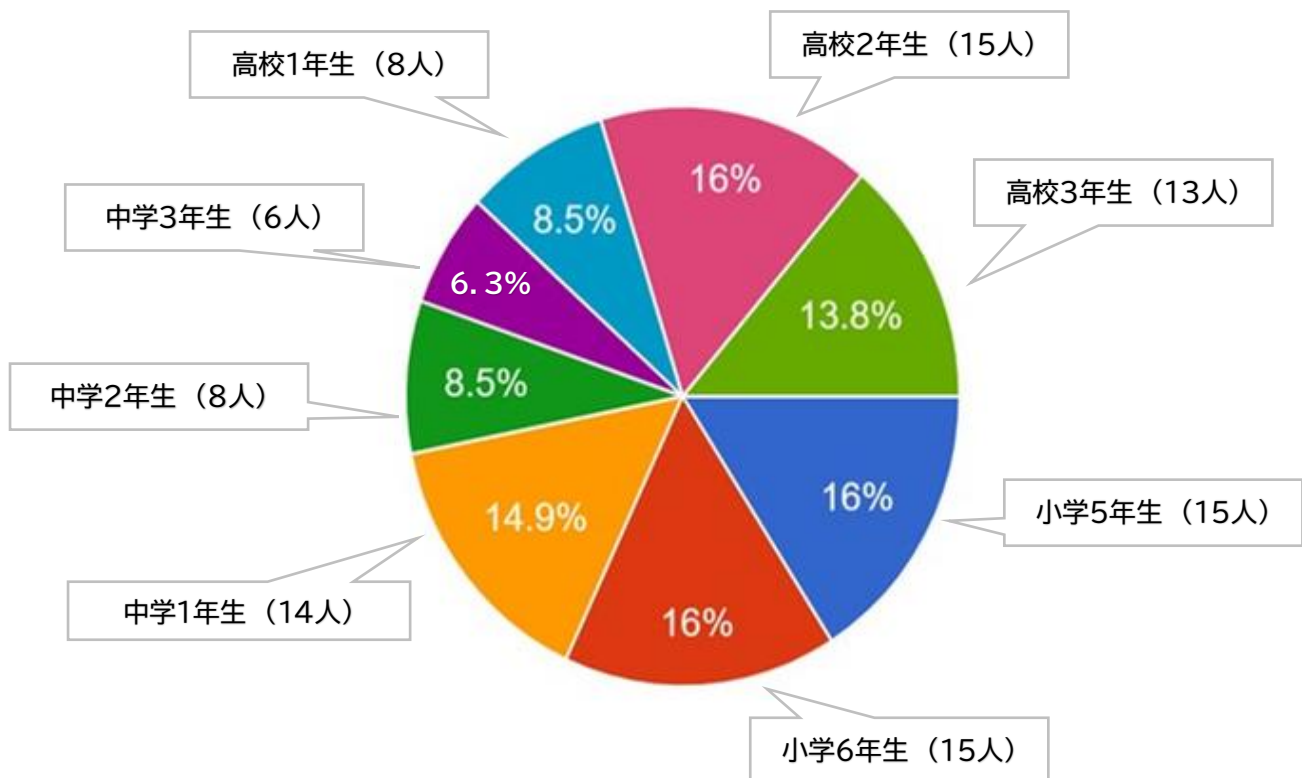
概要

1. 実施機関 令和6年8月19日(月) ~ 令和6年9月2日(月)
2. 回答者数 94人
3. 回 答 率 94%(94人/100人)
4. 実施方法 インターネットによるモニター調査
5. 担 当 課 八戸市 福祉部 障がい福祉課

■アンケート結果概要

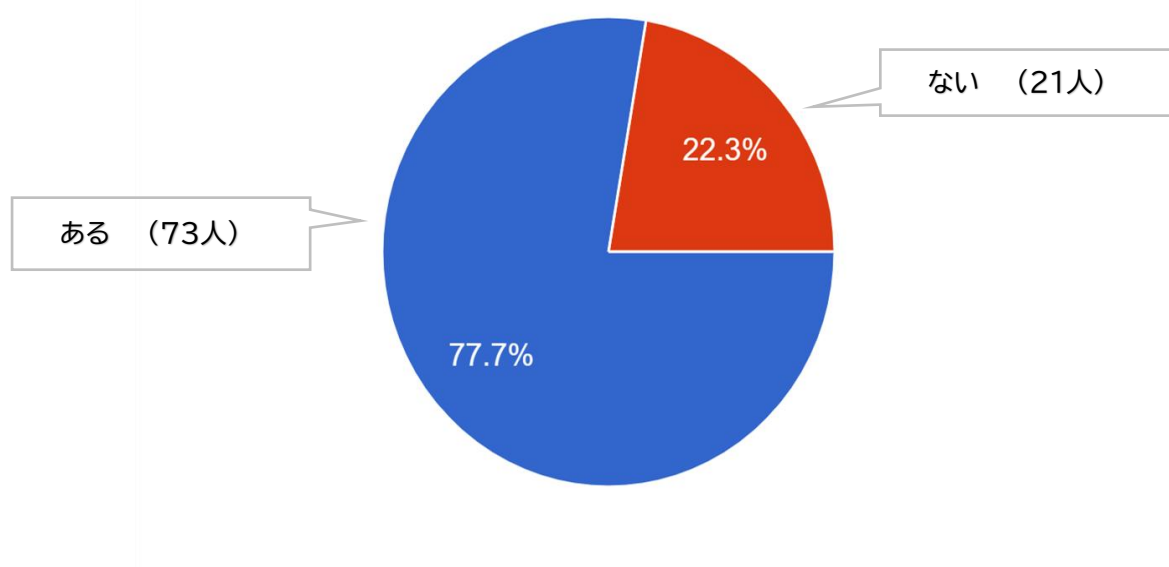
問1 学年を教えてください。(通学していない方は該当となる学年)【1つえらぶ】

今回答えていただいた方の年代は下のグラフのようになりました。



問2 これまでに、手話(しゅわ)にふれたことがありますか。【1つえらぶ】

「ある」と答えた人が73人(77.7%)で、「ない」と答えた人が21人(22.3%)でした。約8割の人が手話にふれたことがあることがわかりました。また、手話にふれたことがある人の割合は、中学生や高校生と比べて、小学生がやや高い結果になりました。



手話に触れたことがある人の割合(年代別)

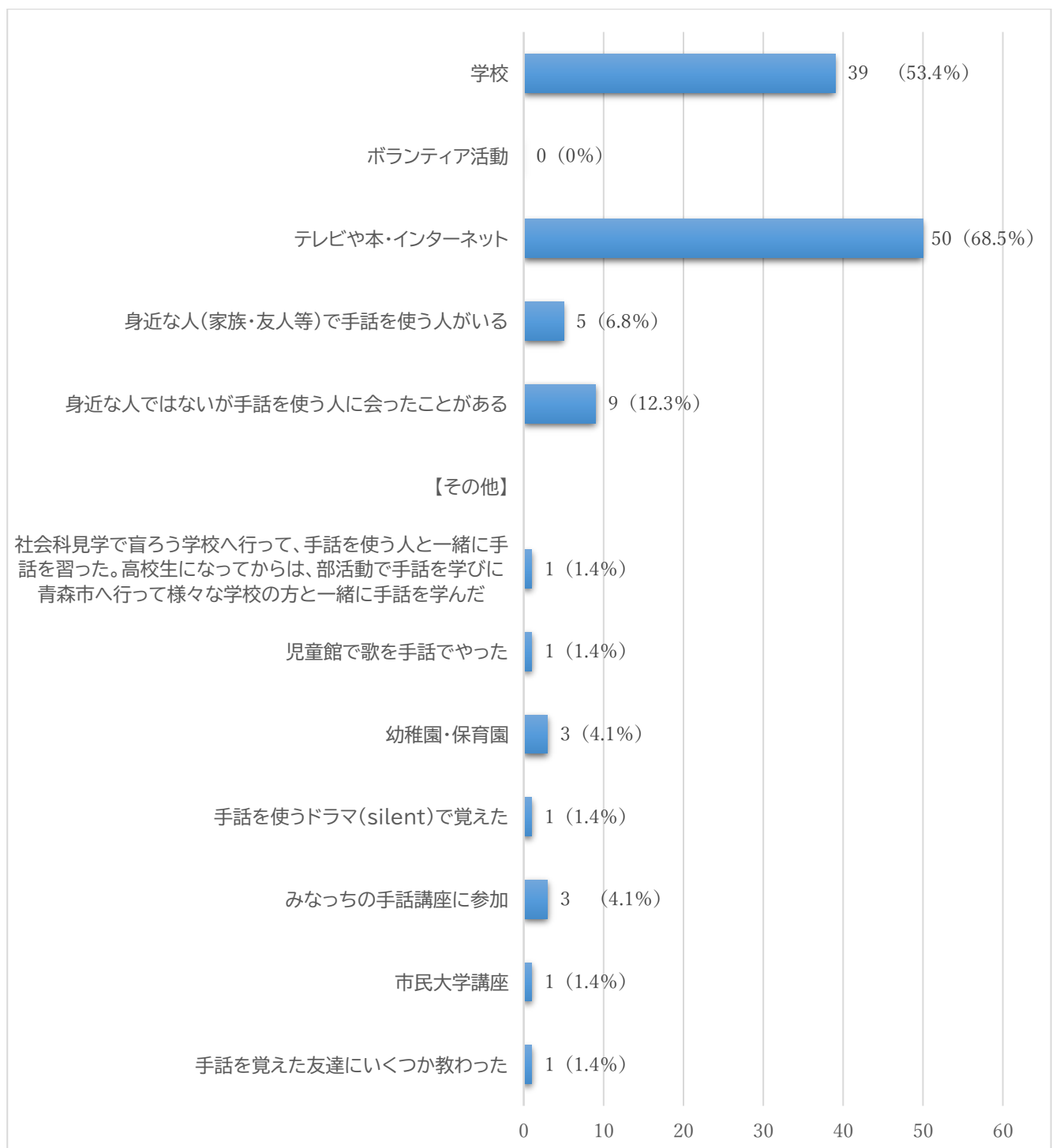
	小学生	中学生	高校生
ある	84%	75%	75%
ない	16%	25%	25%

問3 問2で「ある」と答えた人にお聞きします(「ない」と答えた人は回答不要です)。それはどのような場面でしたか。あてはまるものをすべて選んでください。
【いくつでも】

問2で手話にふれたことが「ある」と答えた73人に、どのような場面で手話にふれたことがあるか聞きました。「テレビや本・インターネット」が最も多く50人(68.5%)でした。次いで、「学校」が39人(53.4%)となりました。

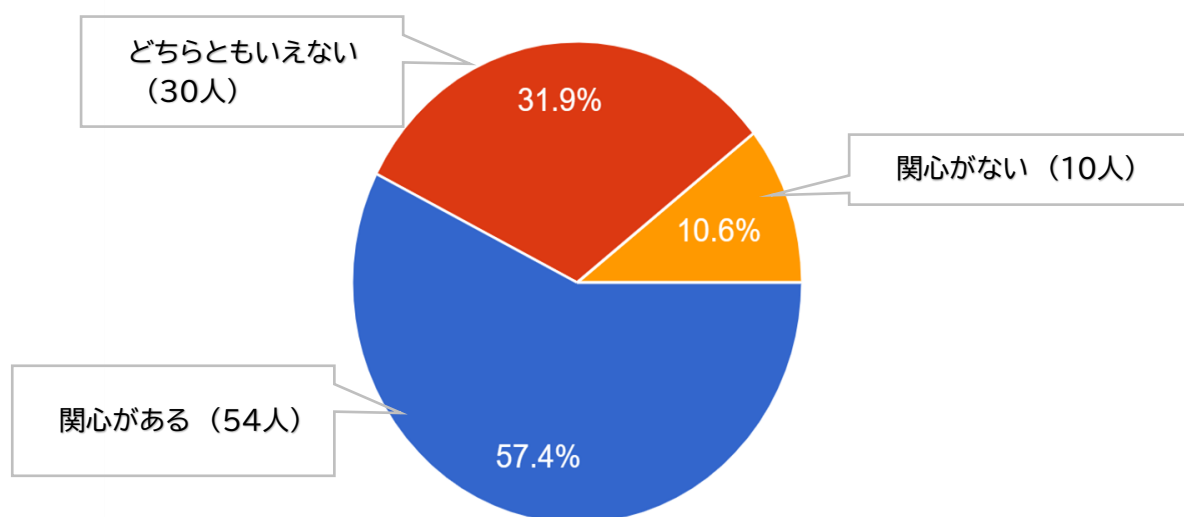
実際に手話を使う人が身近にいる・会ったことがあるという人を合わせると14人(19.1%)いました。

その他の回答では、手話を実際に学んだことがあるという回答が多くありました。



問4 手話に関心がありますか。【1つえらぶ】

「関心がある」と答えた人は約6割となり、「関心がない」を大きく上回りました。
また、年代別では、年代が上がるほど、関心が高いという結果になりました。



手話に関心がある人の割合(年代別)

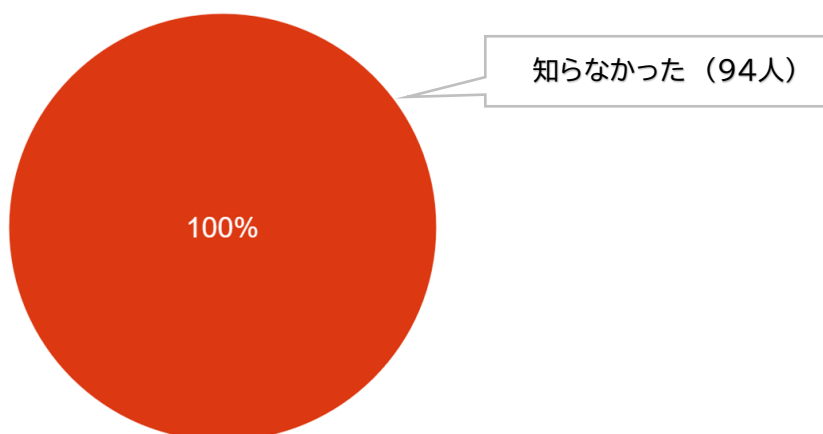
	小学生	中学生	高校生
関心がある	43%	54%	72%
どちらともいえない	43%	32%	22%
関心がない	14%	14%	6%

問5 平成31年に「八戸市手話言語条例」ができたことを知っていましたか。
【1つえらぶ】

八戸市手話言語条例について、残念ながら「知らなかった」が100%という結果でした。

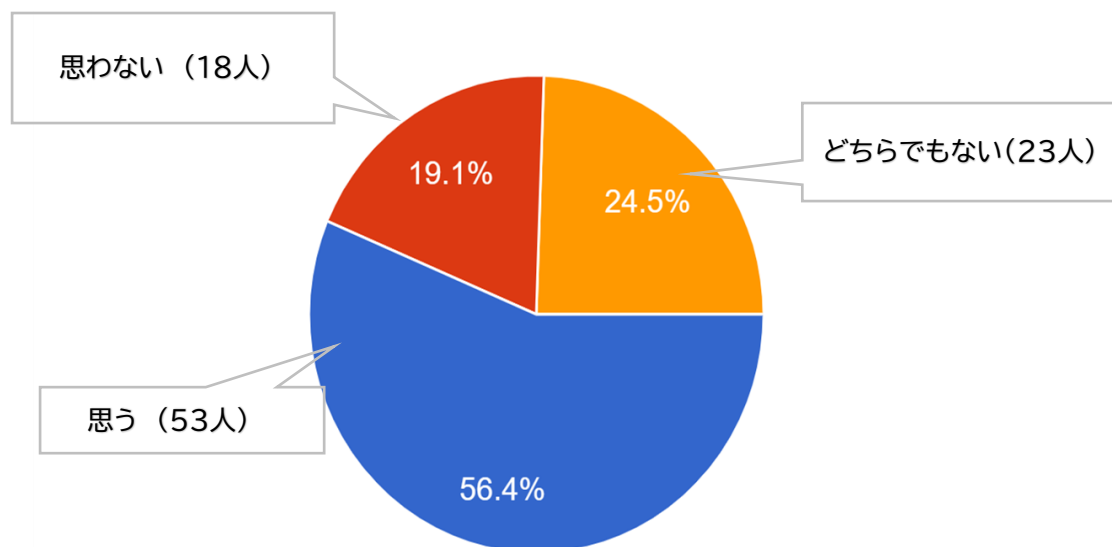
「八戸市手話言語条例」は、手話が言語であり、ろう者(耳が聞こえず、手話を使っている人)が手話により意志を伝える権利があることから、市はろう者の意見を聴きながら、学校等において手話を学ぶ場の提供、手話通訳者になるための講座を開催することなどを定めたもの、市民のみなさんに対しても手話への理解を深めて、市の取り組みへの協力をお願いすることを定めています。

市では、市民のみなさんが手話を学ぶ機会の確保や手話通訳を行う人材の育成などの取り組みをいっそう進めることにより、聞こえる人とろう者とが支え合う社会を目指していきます。



問6 今年10月20日に八戸市公民館にて八戸市手話言語条例制定5周年を記念したイベントを行います。手話講座や手話コーラスなど、参加した人も一緒に楽しめるイベントです。参加してみたいと思いますか。【1つえらぶ】

「思う」と答えた人が53人(56.4%)で、半数以上の人たちがイベントに関心があることがわかりました。



10月20日のイベント「手話しゅわフェス」では、手話講座・手話コーラスの他、ドラマ「silent」の手話監修をされたろう者の方からの講演や手話パフォーマンスライブ、ドラマ出演者からのビデオレターの上映も予定しています。また、AIで自分の手話を確認できる「手話タウン」を体験できるコーナーもあり、みなさんが楽しめるイベントとなっておりますので、ぜひご参加ください。

問7 問6で「思わない」、「どちらでもない」と答えた人にお聞きします(「思う」と答えた人は回答不要です)。
市民に「手話」を広めるためには、どんなイベントがあればいいと思いますか？

問6で10月20日の手話のイベントに参加したいと「思わない」「どちらでもない」と答えた41人に、市民に「手話」を広めるためにはどんなイベントがあればいいと思うか聞きました。

39人から回答があり、内容は以下のとおりでした。

学校での開催の希望、ろう者との交流を希望する声が多くありました。その他、中高生による手話講座や謎解き、手話ミュージカル等たくさんの貴重なご意見をいただきました。今後の参考にさせていただきます。

■「どちらでもない」と回答した人の意見 (22件の回答)

- ・ 手話を学ぶ為の動画をインターネットで閲覧出来る様にしたり、学校などで学ぶ機会が得られるイベントがあれば良いと思います
- ・ 実際に近くにいないため、近くにいた時の想像が出来ない。なので、あまり、興味がない普通の学校にも、そういう生徒がいたら、もっと身近に感じると思う
- ・ 手話を伝えるためにポスターやチラシなどを活用する。手話のイベントの広報もそれらを活用すると効果的かもしれない
- ・ 学校に出前授業
- ・ 夏休みや冬休みに手話講座を開く
- ・ 楽しく手話を学べるイベント
- ・ 学校で授業をすれば生徒、学生には広まると思う
- ・ 講座と言うよりも街を歩きながらこれは手話ではこういうんですよなどの完全体験型の方が私は行きたくなります
- ・ 実際に手話を用いて会話する人たちと触れ合う機会をもつ
- ・ はっちのシアターとかで手話ミュージカルをやる
- ・ 各小中学校にイベントチラシの配布、小中学校に手話講座
- ・ 手話ジュニア大会
- ・ 手話クイズのイベント
- ・ 手話をやれる人が参加できるイベントで身近に感じられる会
- ・ 手話のことはみんな知っていると思う
- ・ 広報に毎月1単語ずつ手話をイラストと共にのせる。動画で確認できるように QR コードものせる
- ・ 燕島などの観光地のイベントのいっかんとして、あればいいと思います
- ・ 実際に手話を使う人との交流
- ・ 学校での講演活動
- ・ 学校で講演会を開く

- ・ ろう者との交流会を開く
- ・ 小学生、中学生、高校生などに手話に実際に関わる人にお話を聞く機会を設けるため、学校のイベントとして来校してもらう

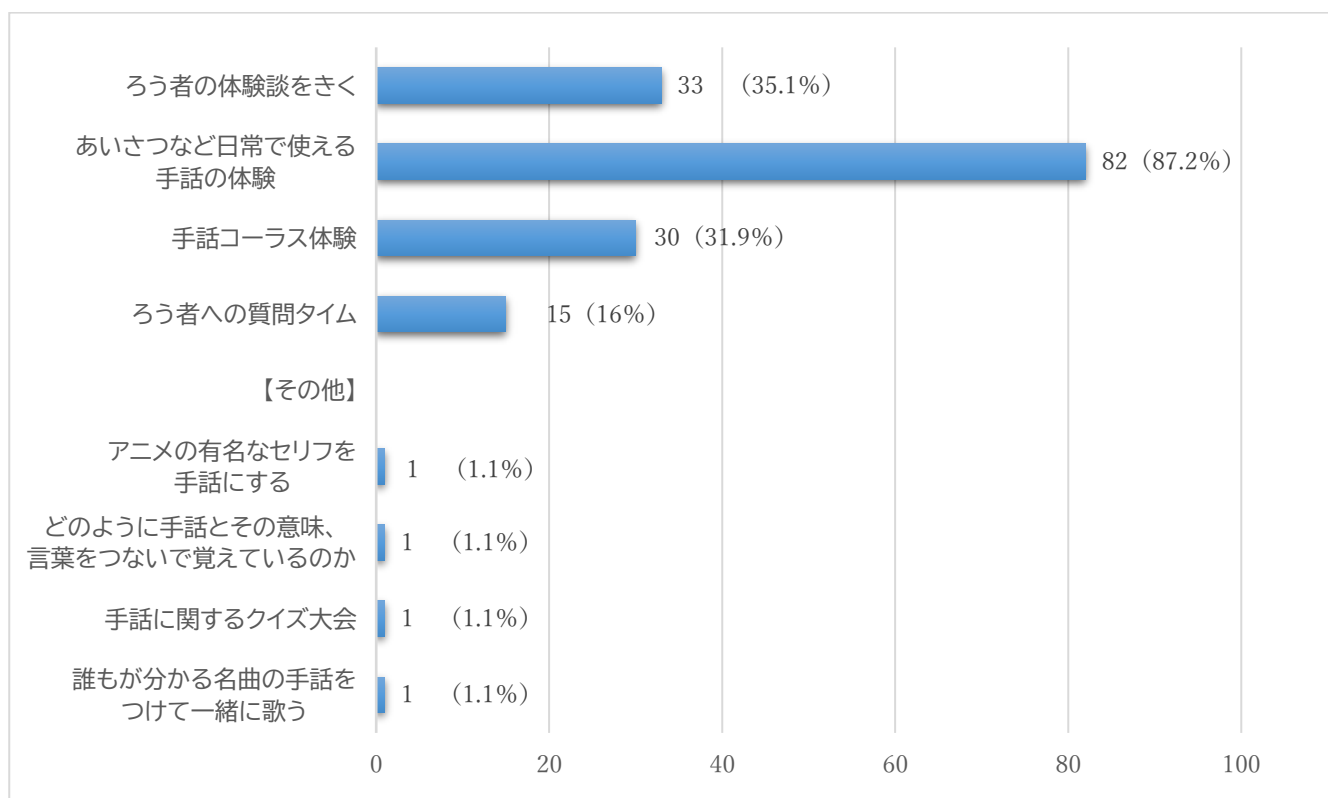
■「思わない」と回答した人の意見 （17件の回答）

- ・ 「手話を知る」などのポスターなどを学校で配る
- ・ 手話は覚えるのが大変だと思うから
- ・ テレビで番組をやる
- ・ 手話イベントで入場者に景品が当たるようにすれば、みんな行くと思う
- ・ 耳や口などが不自由な人と交流する
- ・ 多くの人が集まる場所で、手話のショーや 体験を行う
- ・ 学校に手話できる人を呼んで体験する
- ・ 有名人を入れてイベント
- ・ 手話の試験を受けて合格したら、試験受験料を還元すれば、興味をもつ人が増えるのではないかと思います
- ・ 誰でも楽しめるようなイベント
- ・ 手話を使った脱出ゲームや謎解き 高校生が教える手話講座
- ・ スタンプラリー
- ・ マチニワなどで気軽に立ち寄れるイベント
- ・ 簡単な日常会話に使える手話を小さい子に中学生などが教えるようなイベント、交流会などがあると親しみやすいと思います
- ・ 手話に関した有名人などが来る
- ・ 学校に訪問して手話出前講座を行う(回数を増やし範囲を広くする)
- ・ 学校の授業で体験する

問8 八戸市では、希望する小中学校にて手話出前講座を開催しています。
学校で手話講座に参加する場合、どのような内容の講座だとより興味(きょうみ)
をもちますか。当てはまるものをすべて選んでください。【いくつでも】

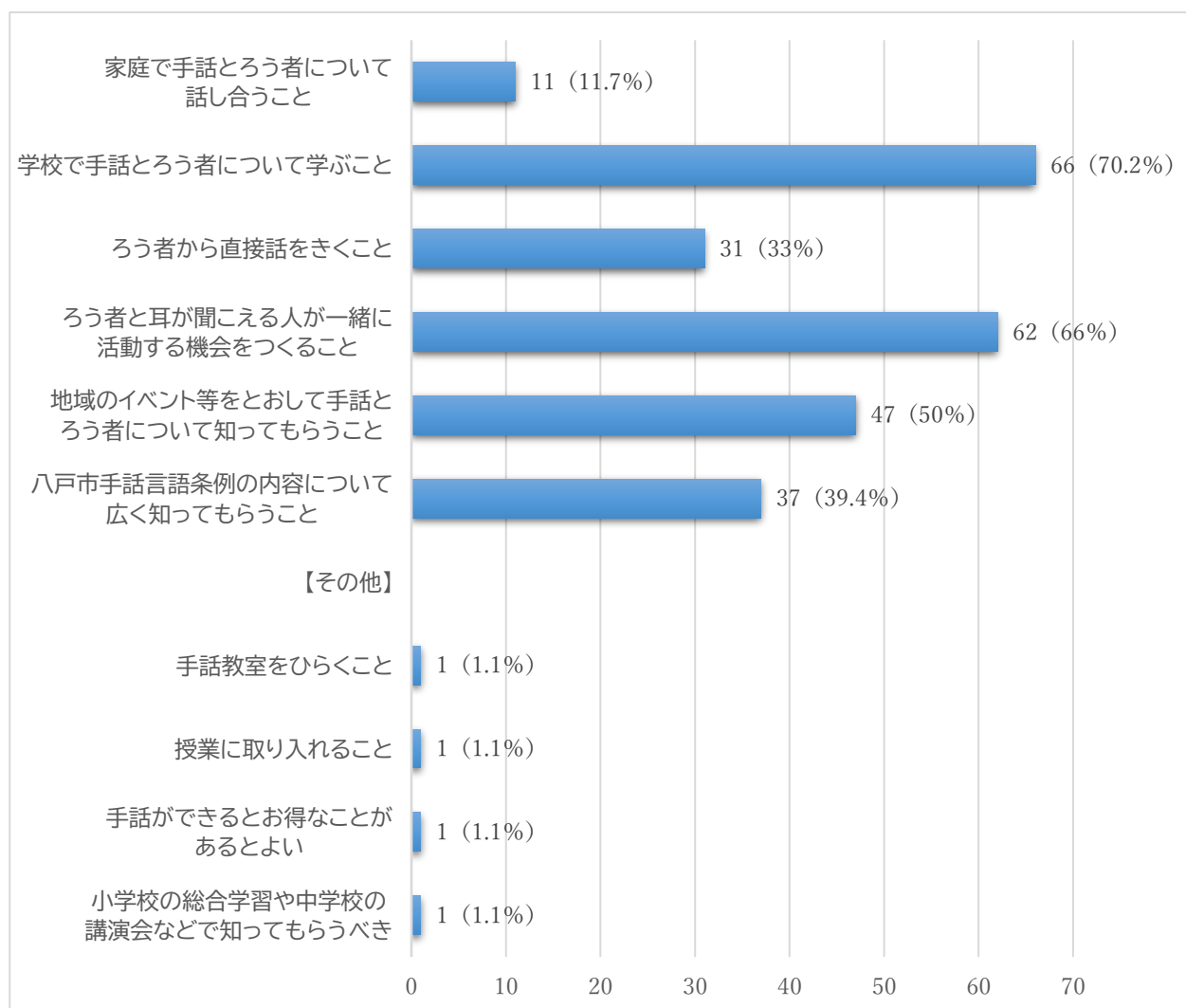
「あいさつなど日常で使える手話の体験」が82人(87.2%)で、9割近い人が実際に手話を体験してみたいと感じていることがわかりました。

その他として、より興味をもてるものとしてアニメのセリフや名曲で手話を学ぶなどの意見もいただきました。



問9 「手話」をたくさんの人が使えるような八戸市になるためには、どのようなことが必要だと思いますか。当てはまるものをすべて選んでください。【いくつでも】

「手話」をたくさんの人が使えるような八戸市になるためには、「学校で手話とろう者について学ぶこと」(66人)、「ろう者と耳が聞こえる人が一緒に活動する機会をつくること」(62人)が必要と考えていることがわかりました。



問10 その他「手話」について質問や意見がありましたらお聞かせください。

「手話」についての質問や意見をたくさんいただきました。

特に手話を学べる講座を知りたい、増やしてほしいという意見が多くあり、手話への関心が高いことがわかりました。今後の講座実施等について、検討していきたいと思います。

いただいた質問については、のちほどお答えしますのでお待ちください。

- ・ みなっちの手話講座に参加してビデオをみました。一人だけ耳が聞こえて家族は耳が聞こえないという話でした。音が聞こえないというのは不便だし危険が伴うと思いました。そこを知ってもらふべきだと思いました。震災の時、大変だったそうです。簡単な手話ができる人が避難所にいたらいいなと思いました。耳が聞こえないという(助けて欲しい)知らせるキーホルダーが何かがあればと思いました。ヘルプマーク(キーホルダーはみなっちの講座でしりました。)手話はどのくらいの期間で習得できますか？
- ・ 小学校の時に手話を学校で少し習っていたので手話に興味があります。使わないと忘れてしまうと思うので、小学校～高校で手話について学べる機会があるといいなと思いました。
- ・ 手話に触れる機会がないので増えてほしい。
- ・ 手話を教えてくれる場所などは無いのですか？独学で勉強するしかないですか？学校にイベントのお知らせや手話言語条約などを教えてくれる機会がありますか？手話が出来ない人はろう者とどのようにコミュニケーションを取ればいいですか？
- ・ 学校で歌詞に合わせた手話をやったことがある。
- ・ 手話はあまり広まってないので八戸市の人たちにイベントをとおして広めてほしいです。
- ・ 難しそうです。
- ・ 存在を知っていても学ぶ機会や接する機会があまりない為まだ身近な存在になりきれていないと思います。接する機会の数自体を増やしていくことが必要だと思います。
- ・ 数年前に手話を題材とした silent 等が流行っていたので、ある程度以上年齢の手話への関心は余り低くはないと感じます。
- ・ 手話を覚えたいと思っている人は結構多いと思います。1つでも知って覚えることが出来たら、日常会話の中でも使ってみることができるため、今よりも手話が身近な物になると思います。
- ・ 市民大学講座で手話通訳を実際みて、ろう者にとって手話とはコミュニケーションツールとして大切なものだとわかりました。また蕪島や根城などの休憩スペースなどに手話を使った PR 動画があっても良いと思います。
- ・ 高校生でも、興味があるので、学校単位でイベントが行えなくても行きやすい街などで行ってもらえると、とても参加したいです！

- ・ 手話はろう者の人とコミュニケーションが取れるし、もしろう者の人が困っていたら助けられるから勉強したいと思う。それ以外にも運動会するときなどに手話を覚えておくのと離れた親ともコミュニケーションが取れたりするから知っていると便利です。
- ・ AI は、手話を認識できたり、することができるのか。
- ・ 私は手話が面白く、手話を習いたいと思っていたのですが、大人が行くものや、近くに習う場所がなく、今もまだ習っていません。もう少し手話を習えるところの情報が欲しいです。そして、もっと手話について体験する機会が欲しいです。
- ・ 手話を習得するにはどのくらいの時間がかかるのか知りたいです。
- ・ 手話で話せないことはないのか。
- ・ 手話についての理解や関心を高めるためには、手話を学ぶ機会を設けるのが最も良い方法だと思います。例えば、手話出前講座を行う範囲を、希望する小中学校だけではなく、市内全ての小中学校や高校にも広げることで、手話に触れる人数や回数をより多くできると思います。また、ろう者の体験談を聞くだけでは、私たちは手話を使えるようにはなりません。先に書いたように、手話を繰り返し学ぶことで、手話を使えるようになり、手話に対する理解が深まると思います。
- ・ 手話ってどう勉強すればいいかわかりません、専門の先生はいますか？
- ・ 手話を多くの方が使えるようにというのも大事なのかもかもしれないが、ろう者について知ってもらい、その方々に対しての差別的な行動や考えが減るように、もっと暮らしやすくなるように、耳が聞こえないだけで悪い意味での差別的な対応をされてしまわないように取り組んで欲しい。
- ・ 手話しか出来ないのか、口も読めるのか、パッとみて、わかるにはどうしたらいいのか。
- ・ すべてひとくくりにまとめた手話がほしい。
- ・ 手話に触れる機会を学校などで増やしてほしい。
- ・ 小中学校だけでなく、高校生も手話に触れることができるように出前授業などをやってほしいです。
- ・ 耳が聞こえない人が街などで困っていたら大丈夫ですか？と言うだけでなく簡単な手話を覚えておくのとただ声をかけるよりも耳が聞こえない人は嬉しくなると思うので、もっと手話のことを知ってもらいたい。【提案】手話が題材のアニメ映画「聲の形」を紹介するなど。
- ・ 学校でみんなで学ぶ機会があれば、興味が持てそう。手話について考えた事が今までなかった。簡単な挨拶や使いやすい手話など、学校で教えて欲しいです。
- ・ 私は日常生活で手話を使う人、耳が聞こえない人に会ったことがまだないので、そういう人たちと関わる機会がたくさんあればいいと思いました。
- ・ 手話は早くできるようになるにはどうすればいいか？
- ・ 普段馴染みないことを体験できるのはとても楽しいと思います！
- ・ 手話を学べる場所について。

- ・ 手話をやってみたいとは思いますが学ぶ機会時間が無いため学校で手話を教える時間を設けてくれると少しでも手話をする事ができると思います。
- ・ 夏休みのイベントで、もう聾学校の勉強会に参加しました。チャイムの代わりに光で合図をする事にびっくりしました。耳の聞こえにくさも学びました。手話の勉強もしました。私は、このイベントに参加してたくさん学ぶ事があったので、これからもたくさんイベントを増やして欲しいです。
- ・ ろう者と言葉以外で会話をする事ができれば、どんな場面でも助けてあげられると思う。知らない人と話す場面は、だいたい何か困ったことがあった時だと思う。そういう場面で正確に伝えられるのはとても大切だと感じるので覚えて損はないし、むしろコミュニケーションツールが増えるのはいいことだと思う。
- ・ ゆびさきと恋々とか、聲の形とか、そんな手話を元にした漫画とコラボしてみたらどうですか？ 声優さんにきてもらって一緒に手話を覚える、とか ファンの人もくるし、有名だからみんな興味湧くと思います でも上記はあくまできっかけです きっかけだけでなく継続して学び続けられる取り組みが必要だと思います。
- ・ 学校のテストに手話があればみんな勉強すると思う。
- ・ みなっちの手話講座で、家族のなかで一人以外はみんな耳が聞こえないひとの生活のビデオをみました。簡単な手話ができれば困っている時に助けてあげられると思った。特に災害時が大変だったそうです。避難所では、手話ができるひとがいたらいいなと思った。